

年頭の ごあいさつ



幸田町長 ^{なる}成瀬 ^{あつし}敦

新年あけましておめでとうございます。日ごろより町民の皆さまにはご理解とご協力をいただき、皆さまと共に新しい年を迎えられましたことは、喜びもひとしおであります。心より厚くお礼を申し上げます。

さて、人口減少、少子高齢化が進展する社会情勢にあつて、本町は土地画整理事業、企業誘致、新駅の誘致などの取り組みによって人口が増加し続けており、年少人口も増加し今や4万2千人もの町民が暮らすまちとなりました。

このような状況の下、さらなる子育て・教育環境の充実を目指し、待機児童解消の取り組みとして、地域型保育事業所の開設に向けた相談、支援を行っております。



↑多世代交流施設「豊坂ほっと館」で遊ぶ子どもたち

す。また、放課後児童クラブについては、受け入れ児童の拡大に向け、施設の整備や拡充、運営の民間委託による支援員の確保を図り、子育て世帯をより一層支援してまいります。そして、多世代交流施設「豊坂ほっと館」に続く児童館の建設基本構想を進め、今後も、子どもの交流与居場所づくりに向け、児童館の整備を推進してまいります。

皆さまに安全で安心な暮らしを送っていただくにあたり、近い将来発生が危惧される南海トラフ地震や頻発する大型台風に備えるため、地域の安全を24時間見守る体制づくりとし、「幸田町安全テラスセンター24」の設置に向けたプロジェクトを推進しています。プロジェクトでは、テラスが、防災・減災について日常的に意識される機会や地域の防災を支える人々の交流・協力できる場を提供し、災害対策本部の準備的・補助的な役割となるような検討を進めています。今後も、自然災害から「自分の命は自分で守る」ことを基本として、災害に強いまちづくりを推進してまいります。

また、昨年は、全国各地で豪雨による河川の氾濫、大規模災害が発生しました。管理者である県と町が一体となって、町内の治水安全度の向上を図れるよう広田川の改修整備を進めるとともに、洪水時の流量を軽減するための菱池遊水地の整

備に着手しております。

また、藤田医科大学岡崎医療センターの4月開院に向けた交通手段の確保として、相見駅から藤田医科大学岡崎医療センターまでを結ぶ経路や交通の手立てなど、交通網や道路環境の整備に取り組んでまいります。

本年も、さまざまな機会で町民の皆さまの声をお伺いし、第6次幸田町総合計画において本町が目指すべき将来像として掲げる「みんなで作る元気な幸田」の実現に向けて、全力で取り組んでまいりますので、町政への変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのご健勝とご多幸を祈念し、年頭のごあいさつといたします。



↑こうたの凧揚げまつり会場にもなっている菱池遊水地の予定地